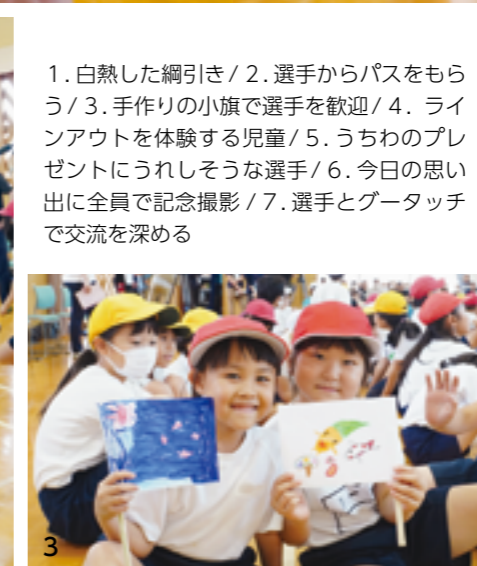


1. 町内飲食店のお弁当や商品は大人気 / 2. 町ブースでキャロッピーと共に記念撮影 / 3. ピッチの周りを周遊する子どもたち / 4. ロアソン熊本サポーターと記念撮影 / 5. 試合前に町長があいさつする様子 / 6. 武蔵剣豪太鼓が迫力のパフォーマンスを披露 / 7. 会場内で町をPR / 8. 町PR大使のコラボも見られた / 9. 表敬訪問の様子



1. 白熱した綱引き / 2. 選手からパスをもらう / 3. 手作りの小旗で選手を歓迎 / 4. ラインアウトを体験する児童 / 5. うちのプレゼントにうれしそうな選手 / 6. 今日の思い出に全員で記念撮影 / 7. 選手とグータッチで交流を深める



タウンデイ@菊陽町 ～火の国もりあげタイ!プロジェクト～

7月16日、えがお健康スタジアムで行われたロアソン熊本対大分トリニータ戦で、“火の国もりあげタイ!”プロジェクトの一環として、タウンデイを開催しました。町ブースには町内飲食店などが出店し、にんじんの配布も行いました。スタジアムでは、町内サッカークラブチームなどが町をPRしながらスタジアム内を周遊し、貴重な体験に目を輝かせていました。21日には、株式会社アスリートクラブ熊本の藤本靖博代表取締役社長、町担当選手のうち黒木晃平選手、三島頌平選手、岡崎慎選手が町を表敬訪問し、選手からのぼり旗とユニフォームが贈られました。



オールブラックス・フィフティーンが 菊陽南小学校の児童と交流

7月14日、ラグビーニュージーランド代表のオールブラックス・フィフティーンと菊陽南小学校の児童が交流しました。児童は手作りの小旗を振って選手たちを出迎えた後、パス回しやタックルなどの活動を通してラグビーの楽しさを体験しました。また、選手たちがリクエストに応えプロの技を見せると、大きな歓声が上がりました。最後には町の紹介と特産品の贈呈を行い、選手と交流を深めました。6年生の高木結心さん(曲手)は「選手は大きくてたくましかった。自分もあんなふうになりたい」と笑顔で話しました。